



西林寺 山門



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば
人の一生は
重荷を負うて
遠き道を行くがごとし
急ぐべからず
不自由を
常と思えば
不足なし

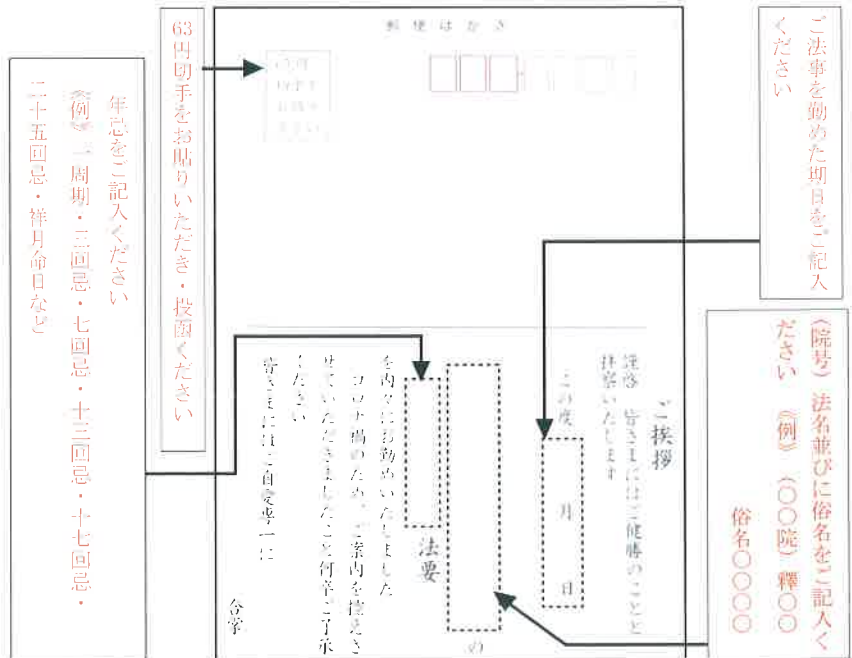
お知らせ

本願寺専如門主法統継承及び
西林寺客殿改修落成慶讃法要
五月二日(日)
十時三十分 稚児宿勤行
十時五十分 稚児行列
十三時三十分 記念法要
十四時三十分 記念講演
*午前中より引き続きご参拝の
皆さまにはお弁当を用意します。
五月一日(土)には記念行事と
して帰敬式を執行します。

「法話付き葉書」のご案内

コロナ禍で、親族や有縁の皆さまのみならず、家族揃って法事を勤めることさえ難しい現状です。そこで安芸教区布教団では、ご法事にお集まりいただけない皆さまにも、お法りを通して故人の願いを訪ね、併せて自身の人を振り返るご縁を結べるように、一口法話を添えた葉書を2種類作成いたしました(1枚5円)。
ご法事にご参集いただけなかった皆さまへのご挨拶等にご利用ください。お求めは西林寺もしくは広島別院まで。

おかげさまで法事を
つとめることができました
お寺様にお願してお経のご縁をいただきました。
あの日、私たちにあって大切な人との悲しい別れがありましたが、御法話で「先だった人は私と成られて、愛された私たちを仏のくにへ導き、後からいく私たちも、同じくを死なずぬていくのです。」と聞きました。
懐かしさとともにおのづか心が安らぎ、お念仏が唱えてくださいました。
また一緒に思い出させていただく日々を楽しみにしています。



法座案内

春季永代経法座
四月 十八日(日) 昼席より
講 師 三原市大和町
浄楽寺 栗原一乗 師
宗祖降誕会
五月 十五日(土) 昼席より
十六日(日) 昼席まで
講 師 安佐北区白木町
順覚寺 榑崎一大 師

朝席7:00~・昼席13:15~・夜席19:30

花まつりのご案内

4月6日(火) 14時より16時の間のご都合の良い時間に西林寺本堂にお参りください。
今年はお勤めやアトラクションは取り止めますが、花御堂の中の「お釈迦さまの誕生仏」に甘茶をかけて、お釈迦さまのご誕生をお祝いしましょう。
お菓子を用意して待っています。

編集後記

『西林寺だより』が発刊20号を迎えました。あつという間の5年間でしたが、多くの難事もあり感慨ひとしおです。今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようお願いいたします。

普厳勸学と大瀛和上(7)

ふごんかんがく だいいいわじょう
三業惑乱騒動中、古義派の代表として京都所司代と江戸寺社奉行所に召集を受けた大瀛に付き添った普厳は、病身の瀛の給仕のみならず、学説補佐の大任まで務めました。法廷への陪席を許され、瀛の病勢が進むに至っては瀛に代わり弁論することが許されました。騒動後の事後処理が一段落した頃に、西林寺第8世住職を継職されます。

住職として最初の事業は本堂の再建でした。文化11(1814)年に完成した7間4面の荘厳な本堂の屋根瓦は京都より取り寄せられ、1枚1枚和紙で包装されて運ばれてきました。それは現在の本願寺の屋根瓦の十倍相当の高価なもので、今では求めることはできないのです。そのような大普請によって建立された本堂は、百年以上経った昭和22(1947)年に9間4面に増築した際も、屋根瓦は葺き替えの必要を迫られませんでした。

この本堂で隔日お朝事が勤まり、多くの村民がみ教えを聞く環境が整いました。やがて常朝事となり、普厳逝去の日も勤められました。



昭和初期の本堂全景

聞思録(もんしりく)

新型コロナに振り回されて一年、それは多くの示唆をいただいた一年でもありました。「明けぬ夜はない」とか「止まない雨はない」という言葉をよく耳にします。コロナはやがて収束するから、それまで自粛(我慢)辛抱せよということでしょう。それも確かに大切です。しかし、ある雑誌に「2020年を振り返ったら、本当に何もなかった。時間が失われた感覚がしました」とコロナ禍の一年を振り返った大学生のコメントが掲載されていました。今を未来のための無味な失われた時間にしか感じられないとするなら、今一度、よく考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

「杖のことば」は徳川家康の遺訓です。

人の一生は 重荷を負うて

遠き道を行くがごとし

急ぐべからず

不自由を 常と思えば 不足なし

自粛することを不自由と思わず、「不自由を常と思」うことができれば、今を引き受けて「不足なし」と領ける今を生きることができるとは、では、どうすればそういう受け止め方ができるのでしょうか。

仏教は、教えを依りどころとして、辛いこ

とも悲しいこともすべての出来事は、人生の尊さ・有難さに目覚める縁であり、財産だったという智慧の眼を育てることを目指すものです。何も無いように思えた一日も、よくよく振り返ってみると、鳥のさえずりや花の香り、太陽のぬくもりや雲の色合いに心が癒されたりすることもありません。今まで見ようとしていなかったものが見えてきたり、自分の気づかないところで、見えないものが、見えるものを支え、生かし、あらしめてあることへの気づきや、自然のたたずまいから、他人のしぐさに至るまで、思いもしない発見があります。

東井義雄師の詩に「きょうは今日という作品を仕上げさせていた、だく日」というものがあります。コロナの収束の時まで、ただ我慢の日々を過ごすのではなくて、自分のこれまでの殻(思い)を打ち破って、たまわった一日一日をお念仏もうしながら前向きに生きてゆくならば、何もないと感じた日も、回りに思えた日も、かけがえのない「今日」という作品(意味のある時間)と受け止められてくる身にお育ていただけなのです。そこに人生には何ひとつ無駄なことも無駄な時間もなかったという領きと感謝に出会えます。

コロナ禍で可視化した課題は、私の人生の課題そのものでした。だからこそ、その課題と向き合いながら、今を大切に生きてゆきたいものです。

住職布教使拜命30年

お寺ではお盆やお彼岸を始め、季節毎に仏教の教えを聞く「法座」が開かれます。その時に仏教のお話をしてくださるご講師を「布教使」と言い、伝道教団である浄土真宗では、特にみ教えを伝えることに重きを置きその研鑽を奨励します。そして相当の研鑽を積んだ人に「布教使」が拜命されます。本願寺や別院の御堂で法話をする資格でもありません。

尊いみ教えを伝える立場にある布教使は、それを聞く人の人生に寄り添い、その人生に深く影響を及ぼす重要な使命を負っています。再来年には立教開宗(浄土真宗の誕生)800年を迎えます。その間、私たちのご先祖さまは、西林寺を中心にみ教えを依りどころに、苦悩の人生をお念仏と共によく生き抜いてゆかれました。それは歴代のご住職や布教使の皆さまのご苦勞によるものと言えます。

表彰

河野行昭殿

あなたは布教使として三十年の永きに亘り浄土真宗の法義隆盛に尽くされた功績はまことに顕著でありますよって茲に記念品を贈りこれを表彰します

令和三年十月五日
浄土真宗本願寺派
無量寿上智庫

ご住職にはお門徒の真の幸せのために益々ご精励いただきますようお願い申し上げます。

中止行事のお知らせ

新型コロナの拡散防止のため、1年で一番大切な法座である「御正忌報恩講」を取り止めることになりましたが、15日大速夜と16日御正當(宗祖の祥月命日)のご晨朝で、ご住職による『御伝鈔』拝読とご法話をいただき、御正忌報恩講法要を修行しました。

仏婦の皆さまにお世話いただいて「御鉢米(西林寺本堂の尊前にお供えするお仏飯)」をつないでいただきました。ご懇念まことにありがとうございました。



「御紐解法座」と「春季彼岸会」は、コロナ感染予防対策を施して執り行いましたが、恒例の消火訓練や仏教婦人会と仏教壮年会の諸行事は、例会を除いて取り止めました。

仏教婦人会 あれこれ

ダーナ報告

1月に募金をお願いしましたダーナ募金を坂町社会福祉協議会及びワイワイハウス、そして浄土真宗本願寺派安芸教区仏教婦人会連盟に寄付させていただきました。

御紐解法座のご講師を囲んで

2月22日(月)ご満座の後、ご講師の牛尾かおり先生を囲んで、座談会を開きました。

日々の生活(坊守・主婦・母親・布教使)を踏まえたお話に、ご法座でのお話とは違ったぬくもりを憶え、生かされていることへの歓びを改めて感じました。



仏教婦人会行事案内

- 四月二十一日(水) 13時から
総会・追弔法要
 - 五月 十六日(日) 11時から
合同初参式
- ※祝賀アトラクションは中止

仏教壮年会 あれこれ

月例会の新しい学び

コロナ禍にあっても、毎月の例会を開催し、ご住職の法話を中心に、仏教の学びを深めてまいりました。2月より『浄土三部経』現代語版をテキストに、新たな学びが始まりました。2月と3月は馴染みの深い「仏説阿弥陀経」を学び、4月からは阿弥陀さまのお誓いが示された「仏説無量寿経」を学ぶ予定です。浄土真宗の依りどころとするお経には「いったい何が書かれてあるか」ご住職に解説をいただきながら学んでいきます。

浄土三部経



仏教壮年会に入会して、いっしょに人生をみ教えに聞く学びを始めませんか。別紙の案内を参照ください。問い合わせは、事務局(林 090-2296-2090)まで。

仏教壮年会行事予定

- 四月三日(土) 15時から
総会
- 六月 初旬
松の木剪定